



ポスト 2015 開発アジェンダに関する国連ハイレベルパネル報告書に関する 市民社会の評価及び TICAD への提言

2013 年 6 月 1 日

TICAD V に参加するために横浜に集結している私たちアフリカおよび日本の市民社会組織は、ポスト 2015 開発アジェンダに関する国連ハイレベルパネル(HLP)が発表した報告書を歓迎するとともに、TICAD がこの機会を捉えて報告書とアフリカ連合の共通ポジションの強みを踏まえつつ、欠落点を埋める形での国際的議論の前進に寄与することを求めます。

全体的に、HLP 報告書は、世界の最貧層の人々が貧困を脱する上で踏まえるべき多くの課題や原則を盛り込んでいます。しかし、過去に交わされたコミットメント¹や、世界が今日直面している課題のいくつかについて、十分に反映されていないものもあることも指摘しなければなりません。報告書の発表とほぼ同時に開催される TICAD では、これを強化すべく、新枠組みを国際的な人権基準を基盤とすること、質の良い必須社会サービスへの普遍的アクセスに向けたコミットメントの強化、さらにはすべての国において最富裕層の社会関与の大きな変革など、重要な視点を提起することが期待されます。さらに、新枠組みがいかなる形に落ち着こうとも、その信頼性は途上国・先進国双方の各国政府が現行のミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けてとる行動の如何にかかっていることも、忘れてはなりません。

私たちは TICAD に対し、HLP 報告書の以下の点を支持することを求めます：

- 極度の貧困、ジェンダー差別、必須社会サービス、飢餓についての、「ゼロ目標」や「グローバルな最低基準」の導入に向けた提案
- すべての主要な社会的グループにおいて達成された場合にのみ、ターゲットが達成されたことを認定できる仕組みの採用
- ジェンダー平等と女性のエンパワーメントに関する個別目標の設定
- 気候変動がもたらす課題がすべての領域に影響を及ぼすという認識、特に、地球温暖化を2°C未満に抑えるべく、他領域に温室効果ガス排出量の削減を主流化すること
- 飢餓の中心的な位置付け、及び、小規模農家支援に関する提案
- 様々な形態の不平等、持続可能性、アカウンタビリティ、紛争など、現行 MDGs の主要な欠落点の統合
- 税と国内資金動員に関するターゲット設定

TICAD は今後の国連ポスト 2015 プロセスに向けて、以下を提案すべきです：

- 新枠組みを明確に国際人権基準に関連付ける
- 国内及び国家間の極度の所得格差の縮小： 極端な格差が公共財のための資金負担に関する衡平性を著しく損ない、社会統合、政治的安定、中長期の成長見込みを阻害するという認識は、国際的な市民社会のコンセンサスとなりつつあります
- 教育や保健医療のような必須社会サービスへの普遍的アクセスの達成に向けたコミットメントの強化： 基本的人権であり、包摂的で衡平な開発の必要条件
- 新規ターゲットの設定については、HIV/AIDS、結核、マラリアを含む保健関連の現行 MDGs に見られるような野心度と包括性を最低レベルとして維持する。
- 企業の透明性の向上、及び民間セクター規制を通じた、開発効果の最大化と負の影響の抑制
- 貧困国における気候変動適応策に関する効果的なターゲット、及び先進国の温室効果ガス排出量削減に関するロードマップ

以上

¹ 例えば、報告書の目標案 4e では、「HIV/AIDS、結核、マラリア、省みられない熱帯病、優先的な非感染症の疾病負荷を削減する」と記述されている。

署名団体

African Center for Asian Studies

Civic Commission of Africa (CCfA: アフリカ市民協議会)

国際協力 NGO センター (JANIC)

North Africa Forum for Development and Human Security

オックスファム・ジャパン

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

動く→動かす (GCAP Japan)

連絡先:

山田太雲 (特活) オックスファム・ジャパン アドボカシー・マネージャー

takumo@oxfam.jp, +81-(0)80-3155-7017

堀江由美子 (公社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシー・マネージャー

horie@savechildren.or.jp, +81-(0)80-3522-8654